



竹林の風

縁あって

おたがいに、縁あってこの世に生まれてきた。そして、縁あっていろいろの人とつながりを持っている。

縁あって…… 何だか古めかしいことばのようだけれど、そこにはまた一つの深い味わいがひそんでいるように思える。

人と人とのつながりというものは、とかく人間の個人的な意志でできたと思いやすいもので、だからまたこのつながりは、自分ひとりの考えで、いつでも断てるかのように無造作に考えやすい。

だがほんとうはそうでない。人と人とのつながりには、実は人間のいわゆる個人的な意志や希望を越えた、一つの深い縁の力が働いているのである。男女の縁もまた同じ。

そうとすれば、おたがいにこの世における人と人とのつながりを、もう少し大事にしてみたい。もう少しありがたく考えたい。不平や不満で心を暗くする前に、縁のあったことを謙虚に喜びあい、その喜びの心で、誠意と熱意をもって、おたがいのつながりをさらに強めてゆきたい。

そこから、暗黒をも光明に変えるぐらいの、力強い働きが生まれてくるであろう。

松下幸之助氏の短編随想集「道をひらく」の中の一編です。先日、人間ドックで待ち時間を利用するために持参し読み進めていたところ、「縁あって」の内容から定期異動と縁について考えてみました。

異動を考える時期に毎年思い出すことは、私の初めての異動の時「この先ずっと異動などせずに先輩方と一緒に仕事がしたい。」と感じていたことです。当時、職場の先輩方には何でも相談にのっていただきました。また、よほど私が頼りなかつたので「授業中でも困ったら気にせず聞きにおいで」と温かい言葉もいただきました。もちろん、その何倍もご指導をいただきましたが、今思えばどれだけ先輩方のお時間をいただき、どれだけ気遣っていただいていたのか、想像するだけで赤面どころか青ざめてしまいます。職場が本当に楽しくて、毎日が充実していました。そんな縁を感じる出会いでした。

また、かつての上司が年度の初めにおっしゃられたことを思い出します。「今回の異動での出会いは、偶然だと感じていると思う。しかし、年度の最後には、我々の出会いは必然であったと実感できる1年間にしていきたい」です。組織論的な話にもなってしまいますが、出会いを大切に、そして、縁というものを積極的に深めていく言葉だと感じました。校内での担当チーム、担任させていただいた子供たち、部活動での出会いにおいても同様だと思います。

ところで、令和4年度公立学校職員定期異動方針にもありますとおり、人事の基本は、適材を適所に配置することです。……とするならば、我々は異動で、出会うべくして出会っている、必然の出会いなのかもしれません。異動について考える時期だと思いますが、風通しのよい職場環境づくりという観点も踏まえ、管内全ての教職員が、深い縁の力を感じながら、人と人とのつながりをこれまで以上に大事にしてほしいと思います。そして、力強い教育活動を作り出していくことを願います。

教職員一人一人の誇りと品格は 教育への信頼を確たるものにする

タイトルは、河内教育事務所が独自に展開している管内服務規律強化旬間のスローガンとして、昨年度から御案内し教育事務所だよりにも掲載しております。不祥事防止の意味合いからしますと「注意喚起」が前面の内容を発信しがちですが、前向きで、みんなで目指そうという内容にしています。もちろん不祥事撲滅は重要ですが、それ以前に教職員一人一人がプライドをもち日々の教育活動を進めることを願って作成したものです。

残念ながら管内、管内で教職員による不祥事が発生しています。不祥事は県民からの教育に対する信頼を失うこととなります。学校教育は教職員に対する信頼があってこそ初めて成り立つものです。信頼回復に向け、我々は、誇りと品格をもって、子供たちの前に立ち続けることが大切だと思います。

WEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひろば」オープン！

県教育委員会スポーツ振興課では、本県児童・生徒の運動に対する興味・関心を高め、運動好きな児童・生徒を増やすとともに教員や保護者の体力向上に向けた意識の啓発を図るため、11月2日(火)に、WEBサイト「とちぎっ子体力雷ジグひろば」を開設しました。「雷ジグ」とは、雷が発生しやすいという本県の特徴から「雷」、そして、本県児童・生徒の体力が更に向上(上昇)していくことを願う「ライジング」を合わせてネーミングされたものです。「体力診断ゾーン」と「体力アップ動画ゾーン」は中学生も対象となっております。

特に紹介したいゾーンは次の三つです。

① 体力診断ゾーン(児童・生徒対象)

学校や各家庭で、児童・生徒や保護者が新体力テストの結果を入力することで、課題を確認し、次回計測時の目標設定等に活用することができます。さらには、県内のランキング表示、種目別の評価コメント、そして、体力アップに向けて推奨する運動の動画を種目別、評価別に紹介します。

② 体力アップ動画ゾーン(児童・生徒対象)

伸ばしたい体力別(筋力・柔軟性・持久力・瞬発力・跳躍力・投力)やレベル別(初級・中級・上級)のエクササイズ動画を視聴することができます。動画は、すでに50本程度掲載されており、教師が体育の授業で参考にしたり、児童・生徒や保護者が家庭での体力づくりの参考にしたり、児童・生徒自身が個々の体力診断の結果に応じて動画を活用したりすることができるなど、多様なニーズに応える構成となっております。これらは、とちぎスポーツ医科学センターとも連携して作成しております。

③ チャレンジランキングゾーン(児童対象)

仲間とともに取り組める「運動遊び」をクラス(学級)や個人で、業間、昼休み等に挑戦し、その記録の登録を行うことで、リアルタイムに県内のランキングが作成されます。令和3年度は、11~2月まで実施し、記録や挑戦回数が上位のクラス(学級)及び個人を表彰します。種目は次のとおりです。

【クラス(学級)部門】

- (1) みんなでリレー
- (2) 立ち幅チャレンジ
- (3) ドッジボールラリー

【個人部門】

- (1) 50m紅白玉スロー走
- (2) なわとびチャレンジ
- (3) 壁当てチャレンジ



※地域のコロナ感染状況などをよく確認して、安全に挑戦してください。



...△△△ 庁舎管理担当の 小川 伸一 さんです △△△...



今回は、庁舎管理担当(民間業者委託)の小川伸一さんをご紹介します。所属は、(株)鈴和さんです。いよいよ職員紹介が教育事務所から飛び出したか、と言われそうですが、どうしてもご紹介したい方です。小川さんは、毎朝、庁舎東門の掃き掃除をしてくださっています。その理由が気になりお話をうかがってきました。過去に、降雨の際など、泥がたまっている状態で閉門し、翌朝、門が動かなくなったことが数回あったそうです。ひどい時はレールが脱線してしまい、戻らなくなってしまったとのこと。その時の、職員の困った姿が忘れられないということで、掃き掃除が始まりました。なぜ毎朝なのか？それは、毎日の方が、時間もかからず常に安全が確保できるからだそうです。ラッシュの時間帯になると車が引っぱりなしに入ってくるので、その前の時間帯に作業しなくてはなりません。

なかなか、気付きにくいところではありますが、小川さんに支えられていることにあらためて感謝した次第です。東門を通らせていただく側としては、ゴミ一つない門を入るといのは、働く意欲が湧き、そして気が引き締まります。職場や学級でも、小川さんのような方がいらっしやると思います。あらためて感謝したいものです。また、危機管理という面で、「平常時の点検」「平常時の生徒指導」の重要性を再認識しました。お話を聞かせていただきながら穏やかなお人柄が伝わりました。小川さん、いつもありがとうございます。

教職員一人一人の誇りと品格は 教育への信頼を確たるものにする